

会 議 報 告

会 議 名	平成25年度 第2回 東久留米市環境美化推進員連絡会
日 時	平成25年7月2日（火）午前10時～11時10分
場 所	東久留米市役所7階701会議室
出席委員 【敬称略】	赤羽實、田中鈴子、飯島靖、熊谷武、藤本公子、小俣宣子、上田和俊、 馬場浩（東久留米の環境を考える市民の会）、佐藤千恵子（NPO 法人東久留米フラワーネットワーク）、 對馬寛（東久留米市老人クラブ連合会）、安尾賢一（NPO 法人 東久留米市文化協会）、 松川艶子（キャロットクラブ）、[オガザンバー]山村聖爾（日本たばこ産業株式会社立川支店業務 部社会環境推進担当課長）（13名）
欠席委員	若松京子、奥田一子、神田政昭（3名）【敬称略】
事 務 局	小島信行環境政策課長、功刀隆主査（生活環境担当）、本田瞳主任（生活環境担当）
次 第	（1）開会あいさつ （2）議題 ①平成25年度第1回会議報告（案）の確認 …資料1 ②平成25年第1回商店訪問・路上呼びかけの反省 …資料2 ③平成25年第1回環境美化マナーアップキャンペーンの反省 …資料2 ④第17回東久留米市環境フェスティバルの反省 …資料3、4 ⑤情報交換等 ⑥その他 （3）その他
配布資料	1）次第 2）平成25年度第1回推進員連絡会の会議報告（案）（資料1） 3）平成25年度第1回商店訪問・路上呼びかけ、マナーアップキャンペーンについて （資料2） 4）環境美化推進員連絡会 環境フェスティバル報告書（資料3） 5）平成25年度 第17回東久留米市環境フェスティバル 環境美化アンケート集計結果 （資料4）
内 容	（1）開会あいさつ（馬場座長）＜省略＞ （2）議題 ①平成25年度第1回会議報告（案）の確認 …資料1 ・西武バス運行時の「ポイ捨て禁止等」の車内放送について、5月30日に西武バス滝山営業 所、31日に新座営業所に依頼し、本年度の継続放送が決定した。 ・情報交換等で担当部署に伝えるとしたものについては連絡済み。 →会議報告について、推進員了承 ②平成25年第1回商店訪問・路上呼びかけの反省 …資料2 ・資料の訂正…【実施状況】の「1、東久留米駅西口周辺」の時間を「午後2時～3時10分」、 「3、滝山交番周辺」の時間を「午後2時～3時」に訂正。 ・事務局から資料2により実施状況の説明。西口と滝山は2グループに分かれて回り、訪問件 数は西口周辺が39件、東口周辺が55件、滝山交番周辺は42件であった。今回はポケット ティッシュや携帯灰皿の配布はほとんどなかったが、今回から新たに配布した協力店舗用ポス ターは、ほとんどの訪問先に配布できた。

- ・商店訪問・路上呼びかけは、次回11月のキャンペーン前にも、今回と同様に実施する予定となっている。
- ③平成25年度第1回環境美化マナーアップキャンペーンの反省 …資料2
- ・事務局から資料2により実施状況の説明。今回は2日目の16日の夜の駅の活動が降雨により中止となった。滝山も16日は天気が不安定だったためか、人通りが少なく配布数は伸びなかった。
 - ・滝山のザ・プライスの駐車場にごみが多いので、店舗へ申し入れてほしい→滝山でキャンペーンを行う時に駐輪場を借用しているため、その依頼を行う際に管理者の確認も含め、事務局から状況を伝えたい。
 - ・滝山の清掃で、プライスの店舗側は団地周辺も含めきれいになっていたが、プライスの駐車場周辺はフェンスの中も外もごみが多かったため、ごみ箱などが設置されるとよい。
- ④第17回東久留米市環境フェスティバルの反省 …資料3、4
- ・事務局から資料3、4により報告。また、フェスティバル当日にパネル展示に使った掲示物の実物を展示。
 - ・アンケート回答数は239名で昨年より約40名増加した。
 - ・来場者は中央町や本町など会場付近の方が多く、市外では新座市の方が多く来ていた。年齢は60～70代の方が多かった。
 - ・「ポイ捨て等条例」や「路上喫煙禁止区域」に対する認知度は約80パーセントと高かったが、「マナーアップキャンペーン」は知らない方の方が多かった。割合はいずれも昨年とほぼ同様であった。
 - ・Q2のよく見かけるポイ捨てごみは昨年同様「3. たばこの吸い殻」が最も多かった。
 - ・Q3の日頃から心掛けていることは、「7. 買い物時はマイバックを持参する」が昨年より大幅に増え、最も多くなっていた。
 - ・フェスティバル全体の来場者アンケートでも、ポイ捨てへの関心は高かった。
 - ・「推進員に参加したい」「内容を伺いたい」ということで連絡先を記入された方もいたため、必要に応じ連絡したい。
- <推進員からの質問・意見・感想>
- ・Q4のその他に「黒目川（坂本橋）」とあるが、どういう意味か→アンケート用紙にこのままの記載があったため、意味まではわからない。
 - ・昨年のフェスティバル全体の来場者数は何名だったか→1779名で、今年は少し減少した。
 - ・子どもの来場者数が伸びているようだったが、何かPRなど行ったのか→フェスティバル全体のテーマとして、子どもに多く来てもらうために「参加型・体験型」のイベントを目指しており、出展団体も工夫しているので、その効果が出ているのかもしれない。
 - ・環境ポスターの内容も、ポイ捨てに関する内容が増えているようだった。
 - ・犬のフンのラミネート看板についても、周知ができてよかった。
 - ・スタンプラリーについては、会場全体でもクイズに答えてスタンプを押すというやり方が徹底されていたのでよかった。
 - ・昨年はイスをおいてアンケートを記入してもらったが、あまり効率的ではなく、今回はボードを用意したところ、効率がいいように感じた。
- ⑤情報交換等
- ・赤羽委員より市のたばこ税歳入額の資料提供があった。担当課からは来年は増加する見込み

と聞いている→ [オザバー] 増加の見込みがあるのは税制が変わったためである。

- ・たばこの自動販売機設置の許可はどこが出しているのか。設置台数は把握しているのか→ [オザバー] 自動販売機の設置許可を出しているのは財務局。[事務局] 台数把握は難しい。
- ・落合川の川の中の草刈りが行われた際、「タコノアシ」という希少な植物が刈り取られているという情報があったので、都が草刈りをする場合には気を付けてもらいたい。
- ・東久留米市では、落合川と南沢湧水群が平成の名湧水百選に選定されており、湧水・清流保全都市宣言もされているが、その後湧水の河川の中にごみが見られる。最近2か所は手を付け始めている。
- ・黒目川の降馬橋近くのグラウンドで、早朝掃除をしている方がいる。市ではそういう方を把握しているか→公園ボランティアとして登録している方などについては把握しているが、個人で行っている活動については把握していない。
- ・湧水の付近を西東京市の方が掃除していると聞いたが、清掃等は誰が行っているものなのか→市内で活動するボランティア団体に、市外在住の方がメンバーとして加入していることもあるので、市外の方が清掃活動に参加している可能性もある。南沢湧水は東京都の管理だが、都にも話をし、ボランティア団体がメインとなって維持管理を行っている。
- ・上の原団地に行くバス通りで交番から東部地域センターまで竹ぼうきで毎日掃除をしている方がいる。ポイ捨てごみだけでなく、落ち葉等も拾って通りをきれいにしていて頭が下がる。
- ・白山公園で犬の散歩をしている方を見かけるが、たばこのポイ捨てであれば携帯灰皿を渡して注意することができるが、犬のフンの啓発について、そのままトイレに流せる袋があるので、注意する時に渡したり、次回のフェスティバルでの啓発品などに使ってはどうか。
- ・犬の散歩をしている方で、公園の方に犬を連れて行ってフンを片付けないと思われる方もいるので、マナーを守ってもらえるよう啓発を続けることが大切だと思った。
- ・公園にも啓発看板を掲示することはできるのか→要望があった時に、公園の担当が設置を検討することになる。
- ・ラミネートの啓発ポスターは、割れた所があるとすぐににじんでしまう。
- ・ひばりが丘団地のURはペットの飼育が禁止であり、フン等の問題はあまり起こっていない。先日フラワーネットワークの活動に参加したが、駅前はきれいだが、少し離れるとまだまだごみがある。だからといってキャンペーンの範囲を市内全域などに広げるわけにもいかないので、市民の意識をいかに向上させるかが大事であり、その一端として、この推進員が先導役となっていると理解している。

(3) その他

・第3期の推進員の任期は8月21日までとなっており、第3期としての連絡会は本日の会議で最後となる。今後7月15日号の市広報、ホームページで第4期の環境美化推進員を募集するが、現推進員の方には先に募集のチラシを配布する。応募の締切は8月2日(金)となっているので、ぜひ第4期の推進員への応募をお願いしたい。

・次回第3回連絡会および第4期推進員の委嘱式は、9月20日(金)午後2時から、701会議室で予定